の不安が浮彫りになりました。

さて、三月議会、

事故による放射能の

よる不安、

灯油· 避難場所、

ガソリン等の燃料不足の不安、

物資不足の不安等、

災害

市側の対応、

長期停電

原電発に

避

難

No. 2

議会だより

ていきたいと思います。

青森市も津波による避

難指1

示が

出

混

乱

津波による被害はありませんでしたが

月 定 例

不通なため、

友人の安否を心配

ていまし

被災地

では

電

移動が

まだまだ、

救助を待っておられる方、

行方不明

者が

被災地の支援・復興に向け

行

家無事との連絡をいただきました。

電話が通じる地域まで友人の息子が

発行者 藤田 まこと 事務所 青森市中央1丁目22-5 青森市議会 社民党・市民の会控室

TEL:017-734-5692 FAX:017-722-8902

印刷所 スタジオとまと

TEL/FAX:017-761-2770



月

H

本

最

大の

大地

震

が 玉 東観

身者がい 目に浮かびます。 職 先が て、 釜 若市で、 被災地に 災され 舞い申し上げます。 を襲いました。大震災で被 党上 関 た皆様に心よりお見 東を中心に日本列島

-数年前、 私 \mathcal{O} 最

岩手県沿岸部の被災地 の当時 同期入社の O町 地 並 みが 元出

さんが「安心」を見出すため 承認され、今後は災害時の課題解決に向け、 心に議論が進められ、二十四日最終日採決。 平成二十三年度一 取り組みを共に考えて行 藤 般会計予算を中 市民 原案通り まこと の皆

青森市議会開催日

平成23年第一回青森市議会定例会 平成23年2月24日~3月24日

定例会一般質問の項目

- 1. マニュフェストについて
- 2. 子どもの読書活動の推進につ
- 3. 障害者のためのおむつ交換用 ベットの設置について
- 4. 市営バス内のAEDの設置に ついて
- 5. 指定管理者制度について
- 6. 都市整備部内の即応体制につ いて

平成 23 年度一般会

·般会計当初予算額 1千1百4拾1億1千2百万円 (H22年度当初比 5億6千6百万円 0.5%增)

19億9千4百万円 市債発行を抑制 18.3%減)

平成23年度予算編成の基本的な考え方

基本的にゼロシーリングを前提として、スクラップ・アンド・ビル ドや経費節減などにより所要財源を確保し、可能な限り一般財源の 圧縮を図ることで、財政の健全性を維持していくとしました。

- 最重点事業----

『産業・雇用対策』 『子どもの幸せ支援』 『地域の活性化(コミュ ティ)』

重点事業---

『新幹線活用対策』 『市民の安全・安心・健康対策』 『廃棄物・地球温暖化対策』 『中心市街地の活性化として』 『総合交通体系の整備』

歳出のうち、義務的経費が昨年度比較で23億9百万円、3.5%増、 生活保護費等社会保障費が年々増加、障害者自立支援法や子ども手 当支給等、制度改正により、25億2千2百万円増加している。

裏面に続く!

ベットの設置要望について質問 害者のためのおむつ交換用

AEDの設置について質問

緊急時の救命医療体制の充実を

市営バスの

障害者が外に出る機会を増やすた 市の施設に

置にとどまっているが、今後、各施設の られていて、多数の施設で、オストメイ ることができるよう、 施設の設置目的や利用者の状況・ニーズ 提供していきたいと考えている。 等を踏まえ、その必要性について検討す ト対応の設備が整備されています。 における多機能トイレの設置が位置づけ フリー整備方針」において、 現時点では、 青森市では、 増改築にあたっては、それぞれの 西部市民センターでの設 「青森市 庁内各部局 所有施設バリア 市所有施設

とと、現在の青森市営バスの環境では、 職員を参加させ、 としては、心肺蘇生方法の救命講習会に 点と、交通部としての、費用負担が困難 直ちに導入することは、電気絶縁などの 含めて、 めはなく設置されていない。 ティ施設については、設置の基準を定め みをしている。 であるとの理由で設置できない。 ているが、市営バスについては特段の定 いては、 して認めてはいるものの、青森県内にお また、AEDの効果については、 青森市の庁舎、 車内に設置している例が無いこ 観光バス、長距離路線バス等を 文化 資格者を増やす取り組 1•福祉、 コミュ 交通部 市と

AED (自動体外式除細動器)

12コミュニティ」の特色ある全市的な「市民センターを中心とした

※オストメイト:人工肛門、人工膀胱装着者を称して

コミュニティ」の特色ある

まちづくり構想の推進について質問

青森市内各地域の災害時や各種活動

拠点を

答弁

ちづくりに関わり、 展開するという、

は市民であり、

市民が自主的に各地域のま

住民自治によるまちづく 自分たちの手で活動を くる、市民のための市政」の実現でその主役

鹿内市長の市政運営の基本「市民と共につ

心停止状態になった人への迅速な救命措置を施す機器

と考えていきたいと思います。 るガイドラインを作成し、今後、 青森市につながるものと考えていると答弁 が市内全域に波及し、 向けて取り組む姿勢を示しました。)地域活動の拠点作りを、各地域の皆さん 現段階で全市的な地域づくりの指針とな が本来の市民活動の姿であり、 「暮らしやすい日常生活拠点の形成」に 元気な、 活気のある 災害時等 その活動

予算特別員会の質疑

富田地区の雨水対策について

富田地区は地盤が低い事や、沖館川の水位によっ て自然に水が流れない地域であり水害も発生してい て、流雪溝は設置できないとされています。流雪溝 設置に向けての調査の中で、水害防止のため、工業 野球グラウンド跡地に雨水ポンプ場を設置する計画 があり、県に取得の要望書を提出しているとの事。 水害防止のため、地元市会議員の齋藤議員、地域住 民の皆様の取り組みが成果を結ぼうとしています。

施設のポンプ排水能力 約6.6 ㎡/秒で、雨を集 める幹線を沖館小学校付近から同野球グラウンド跡 地 (雨水ポンプ場) までの市道に布設するとし、岡部・ 三好地区の雨水対策の整備に目途がつき次第、整備

☆ご意見・ご要望をお待ちしています☆

藤田ま こと 社民党・市民の会控室 TEL:017-734-5692 FAX:017-722-8902

ホームページ URL:http://www.geocities.jp/fujitamakoto aomori

に着手し、平成25年度完成を目指しているそうで すが、工事にあたって、雪対策でもある、歩道・融 雪側溝の整備も要望しました。

除雪の苦情処理について

〔応急対応としての市直営除排雪チーム〕

市では今般のような特異な気象状況下にあっても、 市民の皆様に、よりご不便をおかけすることのない ような除排雪体制のあり方について、今後鋭意検討 を進めていくとした答弁でした。

予算特別委員会の質疑項目

- 大地震への災害派遣についての要望
- 2. 新ゴミ処理施設建設についての意見
- 除排雪体制の見直し
- 富田地区の雨水対策について
- 新青森駅駐車場について
- 管理職の給料の削減について
- 企業局における労使紛争についての要望
- 8. 市役所内の親睦会についての要望